

人体構造系 II

責任者	氏名	弦本敏行	内線	7021
	教室	解剖学第二(肉眼形態学)	e-mail	tsurumot@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00-19:00		

対象年次・学期	学士3年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	人体構造系6.5単位の一部
英語名	Human Body Structure 2		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：解剖学実習は御遺体にメスを入れるという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。人体構造系は「肉眼解剖学」の知識を習得する学問である。講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つの概念を表現するために約束された記号であり、かつ将来、臨床医学を学ぶ上で必須の公用語でもある。また、解剖学実習は、剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会としても位置づけられる。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容

解剖学実習を決められた手技に則って行う。

3. 教科書、参考書等 (★は教科書、必携)

書名	著者	出版社	定価(税抜)
★グラント解剖学実習	新井良八 監訳	西村書店	4,800 円
★ネッター解剖学アトラス	相磯貞和 訳	南江堂	10,000 円
★グレイ解剖学 (for students)	塩田浩平 他訳	エルゼビア・ジャパン	10,000 円
分担解剖学 1 (総説・骨学・筋学)	小川鼎三、森 於菟他	金原出版	9,300 円
分担解剖学 2 (脈管学・神経系)	平沢 興 他	金原出版	10,600 円
分担解剖学 3 (感覚器学・内臓学)	小川鼎三 他	金原出版	8,600 円

4. 成績評価の方法・基準

解剖学実習について、口答試験および筆答試験を行う。

- ・受験資格 原則として皆出席(無届欠席は失格)
- ・試験と評価 ○実習中に口答ないし筆答試験を行う
 - 本試験
 - 再試験

再試験後、口頭試験等も併せて、総合的に評価する

※ 本試験、再試験とも無届欠席は失格とする。

5. 教員名

解剖学第二：弦本敏行、岡本圭史、分部哲秋、佐伯和信

6. 備考(解剖学実習事前学習等について)

- ・解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分なる予習を必要とする。

1) 配布するプリントの一般的解剖手技を十分学習し、各構造物の剖出の仕方を実践でき

るようしておく。

2) 実習プログラムに沿って予習しておく。

①解剖の大きな流れは3～4回先まで把握する。

②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する。

③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく。

・事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと。

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	金	3 4	解剖学実習 1	実習オリエンテーション (解剖学実習総論) 1-4 解剖体安置、洗滌 背部の皮剥と皮下 5-9	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	第 2
4	13	金	3 4	解剖学実習 2	背部浅層 9-11	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	20	金	3 4	解剖学実習 3	背部深層 11-14	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
4	27	金	3 4	解剖学実習 4	頸部、胸部、腹部、上肢の皮剥と皮下 頸部浅層① 19-21, 23-25, 49-50, 71- 73, 169-172	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	11	金	3 4	解剖学実習 5	頸部浅層② 172-177 浅胸筋 25-27 側腹筋、腹直筋 73-78	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	18	金	3 4	解剖学実習 6	頸部深層 178-180 上肢の皮下 19-21	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
5	25	金	3 4	解剖学実習 7	肩部、上腕伸側 21-23, 33-34 腋窩 27-30	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	1	金	3 4	解剖学実習 8	上腕屈側、前腕屈側① 30-37	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	8	金	3 4	解剖学実習 9	前腕屈側②、手掌① 34-42	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	15	金	3 4	解剖学実習 10	手掌② 37-42	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	22	金	3 4	解剖学実習 11	前腕伸側と手背 43-44 胸郭・腹腔の開放、胸膜、肺 51-57	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
6	29	金	3 4	解剖学実習 12	縦隔①、心臓外景 58-63	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	6	金	3 4	解剖学実習 13	縦隔②、心臓内景 63-70	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	13	金	3 4	解剖学実習 14	腹腔開放、腹膜、上腹部内臓、腹腔動脈 79-87	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
7	20	金	3 4	解剖学実習 15	上・下腸間膜動脈、小腸、大腸 87-91	解剖2・ 弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
7	30	月	1	解剖学実習16	腸管、肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓の摘出 91-95	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習17	後腹膜臓器、後腹壁、横隔膜 95-101	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
7	31	火	1	解剖学実習18	腰部離断、骨盤折半 113, 126 骨盤部・殿部の皮下、坐骨肛門窩 103- 107	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習19	下肢の皮剥と皮下 135-138	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	1	水	1	解剖学実習20	外生殖器と会陰、骨盤腔 ♂107-115, ♀ 121-127 下肢の皮下② 135-138	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習21	骨盤内臓と血管・神経 ♂115-121, ♀ 127-133 大腿伸側、内側 138-145	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	2	木	1	解剖学実習22	殿部、大腿屈側 145-152	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習23	下腿屈側 152-156	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	3	金	1	解剖学実習24	下腿外側、伸側 156-159	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習25	足底 159-163	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	6	月	1	解剖学実習26	頭部離断・環椎後頭関節開放 (212-214) 硬膜と内頭蓋底 200-201, 203-206	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習27	咽頭・喉頭 215-218, 229-232	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
8	7	火	1	解剖学実習 2 8	頭部折半 216-217, 227 顔面の皮剥と皮下(浅層①) 180-190	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習 2 9	顔面浅層② 187-188	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	8	水	1	解剖学実習 3 0	顔面深層① 190-194	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習 3 1	顔面深層②、鼻腔 190-194, 218-222	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	9	木	1	解剖学実習 3 2	口蓋と口腔 222-229	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習 3 3	眼窩、外耳・中耳・内耳 206-212, 232- 236	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				
8	10	金	1	解剖学実習 3 4	上肢の関節 44-48	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			2				
			3				
			4	解剖学実習 3 5	下肢の関節 163-168 納棺、清掃	解剖2・弦本、岡本 分部、佐伯	実 (解)
			5				

※授業内容の数字は『グラント解剖学実習』の該当ページ

医 と 社 会

A. 病院体験実習(前期)

責 任 者	氏 名	安武 亨	内 線	7987
	教 室	先端医育支援センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年学士・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	4(2～4年)
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 病院体験実習
- (2) 病院実習2 リハビリテーション施設（介護の立場から）

2) 学習テーマ

- (1) 患者とのコミュニケーション
- (2) 患者診察入門
- (3) 高齢者医療
- (4) 介護・介助（介護保険とチーム医療）

3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

4. 詳細な授業計画は後日配付

5. 備考（準備学習等）

B. 医哲学、医療倫理(後期)

3年次授業計画を参照。